

NO. 4	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	3	鈴木 慎也	
<p>1. 町民の安心安全な環境整備について</p> <p>全国的に交通事故や事件が多発し、尊い命が危険にさらされています。川崎市では安全なはずの通学バスの盲点、乗車待合場所にて児童など19人が死傷した事件や大津市では園児らの列に車が突っ込み16人が死傷した事故が発生しています。</p> <p>未来を担う子供や高齢者、そして全ての住民の生命を守り、安心安全な町づくりが極めて重要です。我が町は交通事故死ゼロ2000日を達成しており、交通安全啓発運動をはじめ官民一体で交通事故死撲滅に取り組んできました。関係者各位には、心から敬意を表するとともに益々の安心・安全を心より願うところです。私自身平成30年第2回定例会において防犯カメラ設置と条例制定について質問をし、平成29年第3回定例会では、函館江差自動車道木古内IC開通による交通量増加に伴う環境整備について、登下校時の子ども達の安全を向上させたい旨の質問をしました。</p> <p>町民皆様の安心・安全な環境を更に整えたい切なる想いで年に一度、関連の一般質問をしています。現状を認識したうえで、以下の2点を政策として取り組むことべきと考えます。</p> <p>(1) ソフト面では、年に一度道路の安全点検等を行っているとは認識していますが、小中学校の通学路、保育園児や高齢者のお散歩ルートに関しても、安全点検・検証を今一度、実施すべきと考えます。</p> <p>また、安全対策の基準とは何に基づいているのか。</p> <p>(2) ハード面では、①の点検・検証の結果により更なる安全対策が必要と判断された場合、ガードレール等の防護柵や啓発看板及び防犯カメラ等、必要な安全確保の対策を実行する考えはありますか。</p>			<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>